

普賢岳トレッキングコース：国見山案内板

これは、島原半島で 3 番目に高い山、国見岳（1,347 m）への道のりだ。急な火山岩を登った勇敢な登山者には、雲仙岳全体が見渡せる最高の景色というご褒美が待っている。

国見岳は野岳カルデラ内で約 2 万 5 千年前に噴出し、妙見カルデラの形成に貢献した。妙見岳（1,333 m）から国見岳へ続く狭い道の先には古代のカルデラの周縁がある。登山道沿いに、東に若い山々、特に普賢岳（1,359 m）と平成新山（1,486 m）が見える。登山道中の巨大な岩には鎖が埋込まれているので登っている時にバランスを保てる。

天気が良いと国見岳の頂上から長崎、熊本、佐賀の 3 県が見える。特に晴れた日には、福岡や鹿児島も見る事ができる。実際、国見岳の頂上からは雲仙、島原、南島原の市街を始めとする、島原半島のほとんどすべてが見える。